



## 教室で学べること、学べないこと

校長 間嶋 哲

6年生が毎年行っている全国学力・学習状況調査の結果が、学校に届きました。学力の数値だけを見れば、国語の平均正答率が72%（全国67.2%）、算数の平均正答率が66%（全国62.5%）と、ある程度上位に位置していることが分かりました。とはいえ、正答率は、あくまで全体の傾向が分かる数値でしかありません。当然、課題はあります。

当校の校内研修として、昨年度より継続的に行っていることが基礎的読解力の育成です。一言で言えば、教科書に書いてある内容を正しく理解できる力です。読解力を測るためのリーディングスキルテストを学校独自に作成し、一年に数回、全校で行っています。そのテストの詳細は省きますが、読解力のカテゴリーを細かく分類して、一体どんな読解力が不足しているのかを、きめ細かく把握するテストです。すべての教員が「どうすれば読解力を育成できるのか」を頭の隅に置いて、日々の授業を行っています。

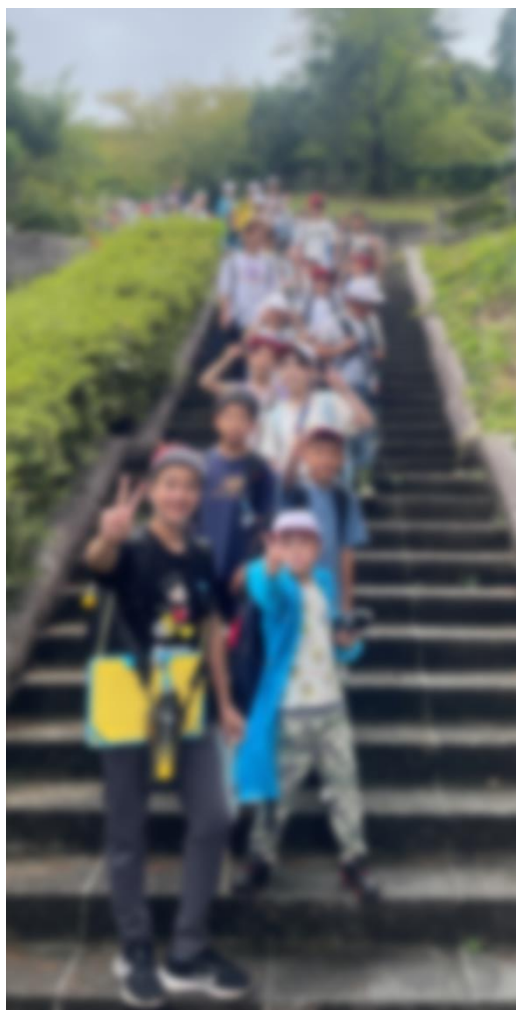
学力の数値だけでなく、児童質問紙という6年生へのアンケート調査結果も届きました。全国と比較し、僅かに下回っていたのは「英語を使う機会」と、「家にある本の量」だけでした。「朝食」「先生から認められている」「人を助ける」「いじめはいけない」「人の役に立つ人間になりたい」「国語や算数や英語は大切」等の項目では、すべての子どもが肯定的な回答をしました。健全な考え方が育っているといえます。

毎日、子どもたちの授業風景を垣間見ていると、どの学年どのクラスも、とても落ち着いた雰囲気の中で授業に臨んでいる姿が目立ちます。学力調査結果と、アンケート結果を物語っていると感じています。

ところで、先日、「いじめ」をテーマに『一小・保護者との架け橋 vol.3』を、YouTube 配信しました。保護者の皆さんに、現代の生徒指導上の課題の一つである「いじめ問題」について、理解を深めていただくためです。当校は、ちょっとした子ども同士のトラブルも決して見逃さず、すぐに当事者同士の話をきめ細かく照らし合わせて対応し、その状況を保護者に丁寧に説明しています。

今夏は、異常な高温、異常な少雨が続きました。暑さのために、休み時間の遊び場所を制限せざるを得ない日々も続きました。ほんのわずかにあった外で遊べる日には、子ども達が思い思いに遊びに興じました。昆虫採集に精を出す子どもや、身体を使った遊びを思いっきり行う子どもの姿が、なぜか新鮮な光景として映りました。先日の秋葉山ハイキングもしかり。子どもは、自然と関わること、異年齢で遊ぶこと、協力してミッションを達成することで、教室内では学べない大切なこともたくさんあることに気付くのです。

# 秋葉山ハイキング



9月15日(金)に秋葉山ハイキングに行ってきました。途中で、若干雨に当たりましたが、それもまた自然との触れ合いになりました。

保護者の皆様、お弁当作り等準備をありがとうございました。



私は、秋葉山ハイキングで楽しかったこと、発見したことがあります。1つ目は、きれいな景色を見ながらハイキングできたことです。自然教室のオリエンテーリングのようでとても楽しかったです。

2つ目は、きれいな色のめずらしいちょうを見つけたことです。私はちょう自体をあまり見たことがなかったので、レア度がグリーンとあがりました。

そして、最後の遊びの時間が終わったところに6年生から修学旅行のお土産で小判飴をもらいました。私はこの飴が大好きなのでとてもうれしかったです。



たのしかったことは、はんのみんなといっしょにみっしょんをしたことです。がんばってすべてくりあできてよかったです。がんばってさいごまであるくことができました。

もみじはんのみんなでいっしょに、しゅうごうしゃしんをとったことがすごくたのしかったです。また、はんのみんなでいっしょにしゃしんをとりたいです。



みりよくいっぱい秋葉山



グループのめあて「仲よく・楽しく・安全にけがをしないで活動をする」を守って、グループでミッションに挑戦しました。秋葉山は、みりよくいっぱいの自然ゆたかな場所です。ミッションで、松ぼっくりや虫などを発見していろんな自然とふれ合うことができました。グループのみんなといっしょうけんめいに考えて正解できてうれしかったです。協力して、けがなく学校に帰ってこられてよかったです。